



平成 26 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号：1606 東証第一部)
問合せ先 広報・IR 室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

「HAKURYU-12」(仮称) の新規掘削工事受注について (開示事項の経過報告)

平成 26 年 6 月 3 日に開示いたしました「『HAKURYU-12』(仮称) の新規掘削工事について」に關しまして、以下のとおり掘削工事契約を締結しましたので、お知らせいたします。
なお、「HAKURYU-12」は、東銀リース株式会社が現在シンガポールの PPL 造船所で建造中です。

記

1. 掘削工事契約の概要

- (1) 契約先 : Teikoku Oil (Suriname) Co., Ltd. (注 1)
CGX Resources Inc. (注 2)
- (2) 操業海域 : 南米スリナム沖及びガイアナ沖 (下図参照)
- (3) 契約坑数 : 各 1 坑 (合計 150 日以上)
- (4) 作業開始時期 : 平成 27 年度第 1 四半期 (予定)
- (5) 作業料金建て : 日割作業料率方式
- (6) 契約締結日 : 平成 26 年 6 月 19 日
- (7) 受注金額 : 2 契約合計で約 38 百万米ドル、動員費 (注 3) を含む

2. 業績に与える影響

本契約が当社の当期以降の連結業績に与える影響につきましては、判明次第必要に応じて開示いたします。

(注 1) Teikoku Oil (Suriname) Co. Ltd. は国際石油開発帝石株式会社の子会社であります。

(注 2) CGX Resources Inc. はカナダ国の上場企業 CGX Energy Inc. (TSXV: OYL) の子会社であります。

(注 3) 動員費とは、この場合「HAKURYU-12」がシンガポールからスリナム沖まで移動するときの費用のことをいいます。



図：操業海域
南米スリナム沖及びガイアナ沖

以上

【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご注意願います。また、新たな情報、事象等に応じて、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りませんので、ご承知置き願います。